

<1年を振り返って>

全日本写真連盟大阪府本部

委員長 広瀬裕子

あっと言う間の1年
でした。



特に執行部の皆様には適切なアドバイスを頂き、色々な企画が実行されました。

ミニ撮影会では、委員の方が企画・立案してく

ださり、舞洲のネモフィラ・祇園後の祭り・民芸寺子屋さんの可愛いボクちゃんなど記憶に新しいところです。

その他、雨水を貯留する地下河川トンネル立坑での撮影は今までにない初めての企画で委員の方が尽力して下さり2回実施されるなど、今までにない撮影企画でした。

その他、プロの写真家、山本先生の講義と実習撮影会では王子動物園、尼崎のボートレースで指導を受けました。

この他、事務局長からは、肖像権についての講義をして頂き、今後の作品作りにとっても参考になりました。

本年度も皆様の写欲をくすぐるような企画を考えておりますが、みなさまの方でもご提案いただければ嬉しく思います。皆様方の生の声も聞かせて頂き、大阪府本部運営の参考にさせていただきますと思います。

色んな制約がある中、ご希望に添えるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひしてご挨拶とさせていただきます。

大阪府本部委員の紹介

大阪府本部委員をお知らせいたします。

今年度は以下のメンバーで頑張っていますので、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

(以下、敬称略)

- ・関西本部・大阪府本部長 : 中田 徹
- ・関西本部事務局長 : 小杉豊和
- ・大阪府本部委員長 : 広瀬裕子
- ・大阪府本部副委員長 : 吉田義隆
- 同 : 毛利秀明

○大阪府本部委員

- ・塚田澄子 ・今村昭一 ・鍋釜一詩
- ・難波正次 ・肱岡 勇 ・山田紀美子
- ・山本桂子 ・今川美佐子 ・水谷八重子
- ・鈴木一彦 ・津田裕己 ・太田晃郎
- ・高橋憲一 ・横山周作 ・中筋照敏
- ・越村 茂

○大阪府本部参与

- ・羽坂 清 ・本多平吉 ・雁尾幸男
- ・山本一朗 ・鞠川 寛 ・森下和彦

写真展のご案内

大阪写友会展

5月9日(木)～5月14日(火)
心齋橋ピルゼンギャラリー3階

第60回高槻支部写真展

5月10日(金)～5月15日(火)
高槻市立展示館 けやき

全日本写真展 2024

- ・応募締め切り：7月3日(水)必着
- ・応募先：〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社 全日本写真連盟「全日本写真展2024」係
- ・組写真：プリント作品のみ応募可。
- ・応募サイズ：A4サイズのみ。四つ切りやワイド四つ切りは不可。
- ・応募料：応募点数にかかわらず 会員2,500円、一般4,000円。
- ・支払い方法：ゆうちょ銀行への振込みに限ります。(詳細はチラシやホームページを参照)

秋の撮影会 審査結果発表

昨年11月23日に奈良市において、「ならを写そう」と銘打って大阪府本部による秋の撮影会が行われました。午後は少し雲も出ましたが、小春日和のよいお天気でした。

おかげさまでコンテストには、いろいろなジャンルの作品がたくさん送られてきました。

今回は、大阪府本部会員のみならず、奈良県や滋賀県、そして和歌山県や兵庫県からもご参加いただきありがとうございました。

(審査委員長の総評)

ご応募の皆さま、ありがとうございます。ご入賞ご入選の皆さま、おめでとうございました。今回の撮影会テーマは「ならを写そう」。よって、できるだけ奈良を感じさせる作品を選ぶように努めました。

応募作品の多くは標準以上で、選考はかなり紛糾しました。上位作品は審査員の合意で決まります。ということは特異さや斬新さはあっても、それが多くの人に伝わらなかつたら上位を得ることは難しいのです。

ここをこうすれば良くなる、動きや画面構成を工夫すれば絶対に入賞だという作品が多くありました。写真は個人で愉しむこととともに、作者の心情やメッセージを鑑賞者に伝えることが大切です。そのための手段のひとつが応募前にする「仕上げ」です。「撮る」と「見せる」は違います。「見せる」アイディアを加えることで写真は作品に昇華します。

スマホやSNSの普及で今や、世界中で一日少なくとも数十億枚の写真が撮られているそうです。生成AIも精度が高くなっています。すでに写真はパブリックからパーソナルに移っています。質の高い写真をめざしておられる皆さま方のご努力に敬意を表します。

審査委員 今村昭一(委員長) 塚田澄子
肱岡 勇 山本桂子 森下和彦

推薦 「退屈」山本弘美(守口市)
特選 「心の交流」絹川眞喜夫(西宮市)
「異邦人」久井義弘(奈良市)
「古都」古地幸男(大阪市)

準特選 「おととと」多賀亜紀子(八尾市)
「朝まだき」金山童化(四条畷市)
「願い」和田 修(奈良市)
「はいチーズ」井崎正治(近江八幡市)
「とおれた～」辻尾伸賢(八尾市)

入選 「豪胆」原田聖司(大阪市)「奈良の秋」北村隆彦(東近江市)「お祓い」上原弘士(大阪市)「愛おしい」亀井登美恵(大阪市)「美しい秋を一枚」齋藤佳英(枚方市)「隠れたつもり」大谷美佐子(枚方市)「異文化体験」山本広宜(枚方市)「うつろい」福森浩子(堺市)「もうおしまいよ」清水圭二(貝塚市)「コミュニケーション」竹川 龍(神戸市)「かくれんぼ」小池祥弘(川西市)

「退屈」山本弘美



「愛おしい」 亀井登美恵



地下河川トンネルモデル撮影会

2月8日に大阪府寝屋川水系改修公営所のご協力により、現在供用中の寝屋川南部地下河川若江立坑内（立坑の外径25m、深さ約23m）でモデル撮影会を行いました。

職員による大阪府の治水対策・整備の説明を受けた後、撮影現場に向かいました。そこは、マンションの約7階の深さの階段をモデルと参加者は巨大な地下空間へと降りていきました。



学生モデルは参加者のリクエストに応じていろいろなポーズを取ってくれ、全日写連会員の30名の方には異次元の場所での撮影会を楽しんでいただきました。

夏のバス撮影会 雨乞いまつり

豊川市赤坂町にある宮道天神社の祭礼で、江戸時代、大干ばつのときに雨乞いをしたところ大雨が降ったことから始まったといわれています。山車や神輿渡御などがあり、中でも地元の青年が花魁や武士、娘などに扮する歌舞伎行列がこのお祭りの目玉です。（※豊川市

ホームページより）



バス撮影会

- 日時：2024年8月18日（日）雨天決行
- 場所：愛知県豊川市赤坂『雨乞いまつり』
- 参加資格：どなたでも（会員以外の参加可）

- 募集人数：40名
- 申込期間：6月10日（月）～7月5日（金）
- 参加費用：会員@10,000円、一般@12,000円（バス代、傷害保険、コンテスト応募料含）
- 申込方法：ハガキに郵便番号、住所、氏名、年齢（保険加入に必要）、携帯番号、会員番号/一般、支部名/個人会員を明記して下記の申込先まで※後日、振込用紙を送付します。
- 申込先：〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞大阪本社全日本写真連盟大阪府本部「夏の撮影会」係
- 集合場所：中之島フェスティバルタワー1階 玄関 午前8時15分集合、午前8時30分出発
- ★詳細は、チラシまたは全日写連大阪府本部ホームページをご覧ください。

第80回朝日写真展

大阪府本部会員・入賞者

- ・朝日賞「オレの骨」今川美佐子



- ・朝日賞「黄昏飛行」筒井利枝子



・朝日賞「危険な昼寝」森山登志子



・入選

- 「攪乱」木村 薫 泉南郡岬町
- 「走る稲妻」長原恭子 川辺郡猪名川町
- 「昔とった杵柄」西山志げる 堺市
- 「大物を釣る」南野憲二 八尾市
- 「ご愛嬌」宮部荘太郎 枚方市
- 「好日」山本桂子 大阪市
- 「喜色満面」横山周作 豊能郡豊能町

読者の広場

<くらぶRoot 第40回記念写真展>

【くらぶRoot (魚野眞史) 「浪花八景8枚組の1枚」】



大阪の姿を広重・北斎風に写真で表現したいと組んだ写真の1枚です。

毎年1月10日の「今宮戎神社・十日戎」に合わせて行われる大阪ミナミ地域での恒例行事「宝恵駕籠行列」の一コマです。

昔、船場の旦那衆の代わりに芸妓さんが紅白の布や様々な吉兆などで飾り付けられた駕籠に乗って行列を仕立てて「ホエカゴ、ホエカゴ」の掛け声と共に今宮戎神社に参詣した

のが始まりと伝えられています。「宝恵駕籠行列」は宗右衛門町太左衛門橋北詰の元南地大和屋前から出発します。この写真は道頓堀河畔で駕籠上げするシーンです。

<第1回アマテラス写真展>

【フォトフレンズZ (寺西和夫)

「キャリアウーマン」】



毎年3月に行われる近江八幡の左義長祭りは各町内の左義長(だし)の練り歩き、けんかと呼ばれる左義長同士のぶつかり合いが繰り広げられ、夜には境内で順次奉火され祭りのクライマックスを迎えます。

そんな近江八幡の街をジンバル片手に祭りのライブ配信中の素敵な外国女性に遭遇しました。同僚の声掛けに「OK」と気さくに応じていただけで撮った内の1枚です。

私はレンズ交換をして最後に撮ったので専属モデルさんのようにゆっくりと撮影できました。ブロンドヘアに寅柄のマスクが似合う素敵な女性でした。

○全日写連大阪府本部ホームページ



〒530-0005 大阪市北区中之島 2-3-18

朝日新聞大阪本社

全日本写真連盟 大阪府本部

Tel 06-6201-8006 Fax 06-6201-0285

メール: nissyaren@osaka.email.ne.jp